

河川の氾濫を想定した

9月1日“防災の日” 高齢者住宅での防災訓練

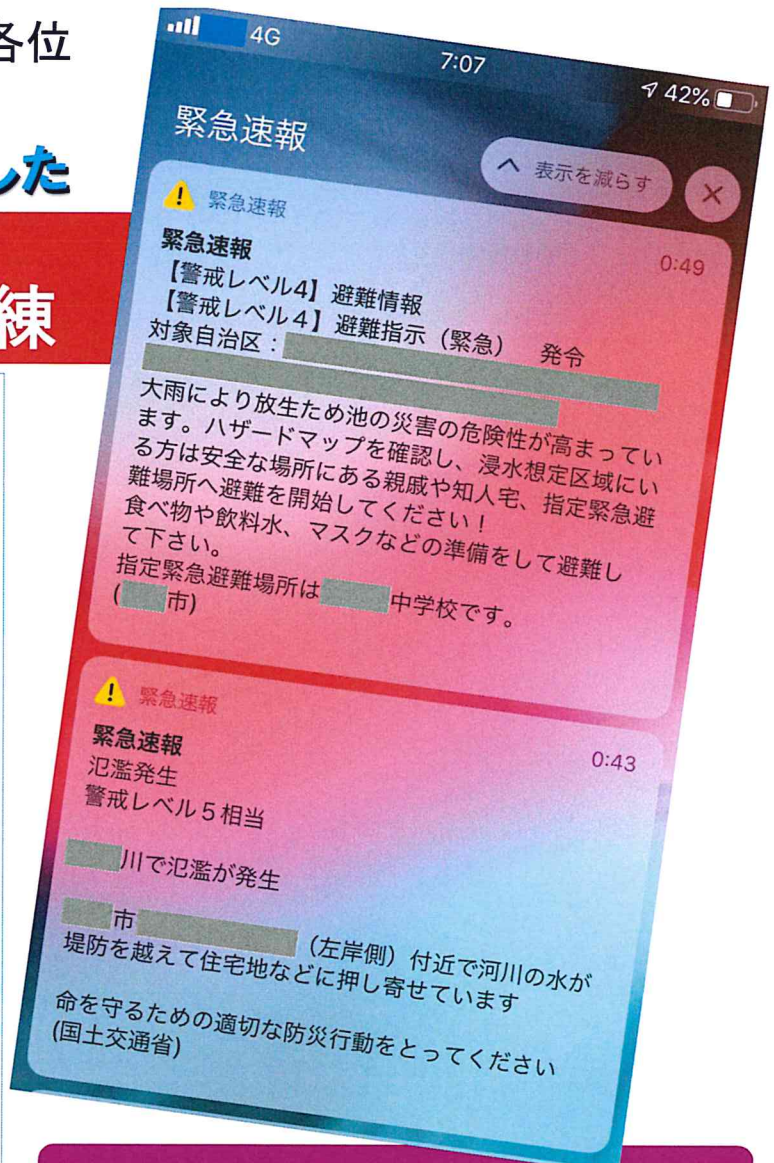
訓練実施理由・近年気象背景

北海道における近年最大の降雨災害は1981年に遡る。札幌の年間降雨総量は平均1,100mm前後であるが、この年の8月から9月の降雨量はなんと700mmを超え、この間の最大日雨量は実に293mmに及んでいる。この雨により石狩・空知・上川管内における各地で河川が氾濫し、住家や農地に浸水し甚大な被害が発生したのが**昭和56年水害**である。

それ以来40年。国内では極地的ゲリラ豪雨発生と比較的少ない北海道でも**2014年には初の大雨特別警報が発令**され、石狩管内で時間降雨量91mm、日雨量は450mmなどの猛威が観測された。近年、地球温暖化現象により日本全体をとりまく気象環境が変化し、線状降水帯の発生数が著しく増加している。西日本では時間あたり100mm以上の降雨がしばしば観測されている中、今後いつ北海道地域でも同様の豪雨が発生しておかしくないのではないかと懸念されている。

訓練実施理由・仮説河川決壊

サービス付き高齢者向け住宅「アゼリア館北広島」では、現在53名、平均年齢87歳の高齢者が共同生活する高齢者専用住宅です。普段はのどかで平和なこの地も、開設来7年のあいだに、降雨の影響によりすぐ脇を流れる輪厚川の水位の急上昇を何度も目の当たりにしている。万一の決壊や、2キロ下流にある千歳川のバックウォーター現象による外水氾濫、地域の内水氾濫が起きた場合、入居者を地域の避難所へ誘導するのか、あるいは**施設で救助を待つ場合、浸水や停電下の状況で要介護者への薬や食事、排泄等健康管理と安全確保をどう行うのか。さらには家族への連絡やコロナ対策はどうするのか、**法令により、これまでの火災や地震対策に加えて、あらたに水害や風害に対する防災訓練の必要性が高まってきており、この度訓練、検証を行います。



“防災の日” 訓練実施のご案内

9月1日 (火)

9:30 ~ 11:30

北広島市中央3丁目4-6
アゼリア館北広島

訓練実施のねらい

- ・ 早めの避難開始に向けた「情報伝達訓練」「避難誘導訓練」「衛生管理訓練」を実施。
- ・ 民間施設が備えるべき停電対策、備蓄対策は？
- ・ 「いざ」の時に持ち出すべき避難袋に納めるものは？
- ・ 海の近くや川沿い、山間部など、災害危険度が高い他の高齢者施設との安全対策・防災対策の共有化

本リリースに関するお問い合わせ先

札幌市中央区南1条東2丁目3-2

キャリアフィットグループ

ケアサービス・セキュリティ・営業本部

担当 椎原 HP 080-1885-0173

mail : h_shiihara@careerfit.co.jp